

私のあいさつの前に、本日出席いただきました新入生並びに保護者の皆様に一言お詫びを申し上げます。

本来ならば多くの御来賓の方々や在校生、そして皆様の他の御家族の方々と共に、盛大に、この入学式をお祝いする予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県教育委員会からの指示もあり、このような参列者の少ない式となってしまいました。衷心よりお詫び申し上げます。

規模は大幅に縮小されましたが、その分は私たち職員全員が精一杯の歓迎の気持ちで、それぞれの持ち場を勤めさせていただきますので、どうか御容赦願います。

それでは改めまして、あいさつを申し述べます。

## 式 辞



例年にもまして雪の少ない冬が過ぎ、まだ天候は三寒四温と不安定ではありませんが、桜のつぼみは確実にその堅さを和らげ、次第に色づいて参りました。窓から差し込む陽射しにも、春の暖かさが感じられる季節となりました。

本日ここに令和二年度の本校の入学式を、予定を大幅に変更しながらも、かくも厳かに挙行できますことはこの上もない喜びであり、教職員を代表して、心より厚く御礼申し上げます。また、保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

さて、ただいま入学を許可いたしました、普通科二百十名の新入生の皆さん。入学、本当におめでとうございます。皆さんの入学は、私たち職員はもちろん、在校生にとっても大きな喜びです。一日も早くこの素晴らしい学校の環境に慣れ、思う存分高校生活を楽しんでください。入学して間もないので不安な気持ちもあろうかと思いますが、安心して通ってください。分からないことがあったら、遠慮せずすぐに聞いてください。みんなで楽しく頑張ってください。

本校の校歌の中には、山、海、丘陵と、雄大な風景が描かれるとともに、本校で学ぶ生徒に対する示唆と期待が込められています。本日は演奏を聴いていただだけでもですが、今後歌う機会がありますから、その時はその内容をかみしめながら、堂々と歌ってください。

昨日行った始業式で、私は在校生の皆さんに三つのことを話しました。同じことを新入生の皆さんにもお話ししますので、よく聞いてください。

一つ目は、現在世界的に流行している新型コロナウイルスについて、その感染拡大防止に全力で取り組むことによつて、自分の命と他人の命を守ってください、ということです。目に見えない敵といつまで戦うのか、精神的にもかなりきつい状況ですが、決して臆することなく、自分のすべき感染防止策をこまめに行ってください。

二つ目はいじめ防止についてです。いじめは絶対に「しない・させない・見逃さない」ことを約束し、そのことに全力で取り組んでください、とお願ひしました。他人を傷つける言動は、直接であれ、スマホなどの通信機器を使った場合であれ、絶対にいけないと話しました。このことも皆さんに願ひします。

三つ目は高校時代は何を身につける時期か、ということと、それは卒業後の将来を生き抜く力を身につける時期である、と話しました。具体的には、知力・徳力・体力の三つであり、この三つの力をバランスよく身につけることが大切であると話しました。どんな力を、どれだけ身につけられるかは、皆さんの気持ち次第です。ではどうすればよいのでしょうか。キーワードは「凡事徹底」です。この言葉は「誰にでもできることを、誰にも負けないくらい精一杯頑張ること」を意味しています。私は皆さんにこのことを期待し、将来を生き抜く力を身に付けて欲しいと願ひしています。

この学校には、皆さんを成長させる素晴らしい環境が整っています。そして、ここで学べるのは、厳しい入学試験に合格した皆さんだけなのです。

今年百周年を迎える、この伝統ある秋田中央高校で学べることに、自信と誇りを持って学校生活を送ってくれることを期待しています。共に頑張っていきましょう。師弟共励の精神で、私たちは皆さんと共に歩んでいきます。

最後になりますが、本日御列席いただきました皆様に重ねてお祝いと感謝の意を表しまして、式辞といたします。

令和二年四月七日

秋田県立秋田中央高等学校

校長 尾形徳昭

